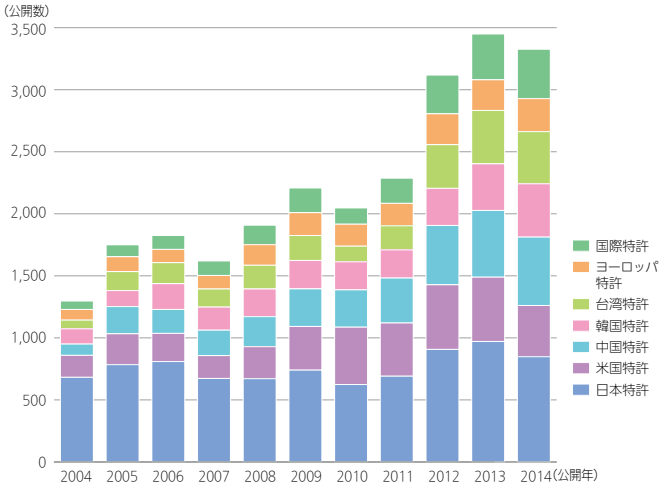
経営・事業と一体となった知財戦略

各事業のグローバル化とともに、知財活動も地域や技術のエリアごとに最適な対応が必要になってきています。また、新規事業を立ち上げていくにあたり、新たな事業モデルも保護できる知財活動への転換も進め、グループ全体の経営安定化と事業収益の最大化に努めています。

具体的には、「事業を進めていくにあたって必要となる権利を知的財産で確保する」との方針のもと、以下を進めています。

①経営・事業と一体となった知財戦略の実行
②グローバルで、各エリアに最適な知財活動の実行
③知的財産の質向上を図り、自社製品を保護するための知的財産獲得から事業モデルを包括する知的財産獲得まで幅広い知財活動の実行

■Nittoグループの特許公開推移（日本および主要外国）



これらの活動の一つとして、海外出願・権利化を積極的に進めています。「特許行政年次報告書2014年版」では、日本の出願人のグローバル出願率が約30%で、米国・欧州出願人の約50%に比べ依然低い点が指摘されています。これに対しNittoのグローバル出願率は65.3%に達し、特許制度利用上位200社中9位の高い水準となっています。

トムソン・ロイター「Top100グローバル・イノベーター2014」知財・特許関連で4年連続世界のトップ100社に選出

Nittoは2014年11月、トムソン・ロイター社（本社：米国ニューヨーク、日本オフィス：東京都千代田区）が世界で最も革新的な企業・研究機関を選出する「Top 100 グローバル・イノベーター2014」に、4年連続で選ばれました。特に、知的財産に関して実績を残した企業として評価されました。

Nittoは知財戦略を経営そのものと捉え、事業戦略と知財戦略の融合により事業強化を図ってきました。事業のグローバル展開に合わせ、知財活動のグローバル化も積極的に進めるとともに、グループ一体となり発明のアイデアを知的財産によって適切に保護し、かつ効果的に事業化することでアイデアの価値最大化に努めてきたことが受賞に結び付いたものと考えます。

2014年12月17日、Nitto本社において、トムソン・ロイター社のアジア・太平洋地域統括マネージングディレクター長尾様より「Top 100 グローバル・イノベーター2014」のトロフィーを授与されました。

これを励みに、今後も知的財産価値を高め企業価値の最大化に努めます。

トムソン・ロイター社の長尾様（左）からトロフィーを受け取る社長の髙﨑